

人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち No.69



広報 **さつま**  
2010 **12**

ラッセラー  
ラッセラー  
ラッセラー  
ラッセ  
ラッセ  
ラッセラー



大盛況  
祝 5周年



02 特集：さつま町5周年を祝う  
 08 健やかな子どもの育成を願って  
 ~ワクチンの接種費用を一部助成~  
 10 国民健康保険の医療費  
 12 行革情報  
 14 まちのニュース  
 18 町駅伝競走大会結果  
 19 婚活情報  
 新規認定農業者の紹介  
 20 我が校の特色ある教育活動  
 21 川内川激特  
 鶴田ダム再開発速報  
 22 さつまエコアクションだより  
 23 暮らしの情報  
 25 がんばれ認定農業者  
 26 ひと仕事（さつまに生きる）  
 27 誕生・おくやみ  
 1歳で~す  
 こんにちは保健師です  
 28 人・夢  
 休日在宅医・薬局

■表紙の写真説明

さつま町5周年を祝う  
 ~まつりは、大賑わい~



さつま町5周年記念行事として、11月13日に青森県鶴田町との「友好交流協定締結式」が、11月14日には「記念式典」「第1回郷土芸能祭」「元気だ！まつりだ！さつま町！」が行われました。青森県鶴田町から寄贈された「ねぶた」の運行では、歩行者天国となった盈進小学校前町道は大賑わいでした。

# 5周年の節目を祝う

未来に輝け元気あふれるさつま町

## さつま町5周年記念式典

11月14日、さつま町5周年記念式典が宮之城文化センターホールで開催されました。オープニングとして『ふるさとビデオ上映』と薩摩中央高校の卒業生で歌手の稼木美優さんによる『さつま町民音頭披露』で幕を開け、記念式典がスタートしました。

11月14日、さつま町5周年記念式典が宮之城文化センターホールで開催されました。オープニングとして『ふるさとビデオ上映』と薩摩中央高校の卒業生で歌手の稼木美優さんによる『さつま町民音頭披露』で幕を開け、記念式典がスタートしました。

### 5周年記念表彰 特別功労表彰（敬称略）

- 【地方自治部門】  
井上 章三  
元さつま町長（元鶴田町長）  
山口 昭幸  
元薩摩町長  
故 北村 信之  
元宮之城町長  
濱田 等  
元さつま町議会議長  
宮之脇 尚美  
元さつま町副町長  
山下 彦志  
元さつま町副町長  
貝崎 俊彦  
元さつま町選挙管理委員会委員長  
柳山 健一  
元さつま町消防団長
- 【産業経済部門】  
久永 豪  
元さつま町農業委員会会長  
（元県農業会議会長）  
山元 幸雄  
元宮之城猟友会会長  
（県猟友会薩摩支部長）  
水流 克男  
元さつま土地改良区理事長  
淵之上 三男  
元さつま町観光協会会長  
【特別表彰】  
日本特殊陶業株式会社
- 【教育文化部門】  
小牧 紘一  
元さつま町教育委員会委員長  
福満 隆徳  
元さつま町教育長
- 【社会福祉部門】  
白石 九州男  
元さつま地区交通安全協会会長  
児玉 清美  
元さつま町区公民館長連絡協議会会長



友好交流協定締結を記念して、握手を交わす池田中種子町副町長、日高町長、中野鶴田町長（左から）



オープニングを飾った、歌手の稼木美優さんによるさつま町民音頭の披露

### さつま町誕生 5周年に寄せて



関東さつま会  
前会長  
木通洋吉さん

さつま町誕生5周年おめでとうございます。関東さつま会は、年に1回総会を開き相互の親睦を図っています。久しぶりに会う友達との会話も決まって、故郷さつま町での思い出話に終始してしまいます。故郷を離れて初めて分かる『故郷さつま町』の善さを感じています。関東さつま会を今年、10月17日に日本青年会館で開催しました。ご来賓として日高町長、中尾議長のご臨席をいただき有難うございました。さつま町の近況をお伺い知る事ができて有意義でした。今後とも関東さつま会をよろしく申し上げます。



10月17日に開催された関東さつま会総会で、日高町長から『さつま観光大使』委嘱状が木通前会長に贈られました。

### さつま町誕生 5周年に寄せて



関西さつま会  
会長  
市野英司さん

さつま町誕生5周年、誠におめでとうございます。平成17年3月22日に3町が合併し「人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち」新生さつま町がスタートしました。当時の日本の景気は回復が緩やかで、世界経済の着実な回復に伴い景気回復は底堅く推移すると見込まれた年でもあり、また、社会的にはJR福知山線脱線事故で107名が死亡した年でもありました。そんな背景の中、平成18年7月鹿児島県北部豪雨災害でさつま町は未曾有の災害を受けましたが、町民の皆様の絶え間ない復興への努力が功を奏して着々と甦る状況を見聞するにつけ、「さすが薩摩人は強か！」と感激し、大いなる拍手を送りました。改めて故郷の人たちの頑張る姿に衷心より敬意を表します。未来に向けて「みんなが夢と希望を持てる元気なまち」づくり、ますます気運を高め頑張ってください。さつま町誕生5周年にあたり「さつま町」の発展と町民みなさま方のご健勝を祈念申し上げます。



11月7日に開催された、関西さつま会総会で、日高町長から『さつま観光大使』委嘱状が市野会長に贈られました。

## 友好交流の絆再び！

### 青森県鶴田町・さつま町

11月13日、青森県鶴田町とさつま町の友好交流協定締結式が行われました。青森県鶴田町と合併前の旧鶴田町は、平成9年に姉妹都市盟約を締結していましたが、さつま町として合併した後も、民間交流は続いてきました。今回、本町が5周年を迎えたこと

### 友好交流協定締結式



中種子町から「種子島焼」を受贈



翌日の予行演習？舞台は大賑わい



祝賀会場内では盛んに交流が行われました

### 友好交流協定締結式

を機に、改めて友好交流協定の締結を行いました。青森県鶴田町からは、締結式と翌日の記念式典、ねぶた運行のために、中野町長以下85人が来町されました。また、祝賀会では、本町発足後一番目の友好交流協定を締結した、中種子町の池田副町長から記念品の贈呈も行われました。



友好交流協定締結式の様子



さつま町から「竹の花かご」を受贈 鶴田町から「津軽塗」を受贈





【流水小】湯田棒踊り  
流水小学校文化財少年団



【中津川小】俵踊り  
中津川小学校文化財少年団



【湯田】湯田秋津島舞  
秋津島舞同好会



【佐志】棒踊り  
あながわ公民会



【柏原】秋津島舞「アケスメロ」  
柏原区秋津島舞保存会



【平川】ひよっこ踊り  
ひよっこ踊り保存会



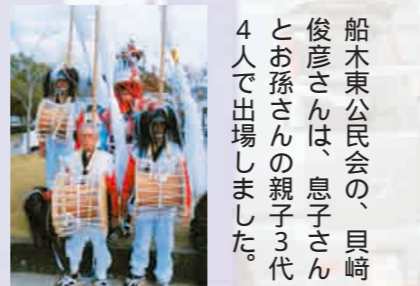
【中津川】兵児踊り  
尾原友励会



【鶴田】鷹踊り  
鶴田大角公民会



【船木】船木東一本矢旗  
船木東公民会



船木東公民会の、貝崎俊彦さんは、息子さんとお孫さんの親子3代4人で出場しました。



【二渡】秋津舞  
折小野秋津舞保存会



【久富木】金山踊り  
角郷女性部



【虎居】轟原鷹踊り  
轟原公民会

11月14日、午前中の記念式典に引き続き、正午から宮之城総合グラウンドで、第1回さつま郷土芸能祭が開催されました。3つの文化財少年団と19の団体の計22団体から出場があり、それぞれ地域に伝わる郷土芸能が披露されました。出場した各団体は日夜練習を重ね、この日に備えてきました。各団体ごとの披露が終わるたびに、観客からは拍手が沸き起こりました。

# 第1回 さつま郷土芸能祭

## さつま郷土芸能祭



【泊野】狩踊り  
宮田狩踊り保存会



【柏原小】かせばい棒踊り  
柏原小学校文化財少年団



【柘野】疱瘡踊り  
柘野区郷土芸能保存会



【宮之城屋地】川原おんな相撲甚句  
宮之城屋地公民館



【紫尾】種子島踊り  
紫尾区芸能保存会



【山崎】山崎麓アケスメロ  
山崎麓秋津舞保存会



青森県鶴田町の皆さんも見物



【時吉】金山踊り  
時吉区郷土芸能保存会



【求名】鷹踊り  
下手鷹踊り保存会



大勢の観客の見守る中で・・・



【白男川】秋津舞  
浅井野公民会



【神子】浅山棒踊り  
神子区郷土芸能保存会



■特集：さつま町5周年を祝う



稼木美優歌謡ショー



薩摩中央高校ダンス部のパフォーマンス



宮ちゃんバンドによる演奏



盈進小学校の校庭では「竹とうろう」



薩摩中学校吹奏楽部の演奏



しび保育園児による「やなせ太鼓」



華やかな衣装の踊り連



軽快な笛の音も祭を盛り上げる



青森県鶴田町・さつま町の町長・議長による先導



勇壮な太鼓の響



鶴田幼稚園児も「きんぎょねぶた」を持って参加



超満員の会場周辺



元気だ！  
まつりだ！  
さつま町！

11月14日、午後4時からはプラッセだいわ駐車場特設ステージで、「宮ちゃんバンド演奏」「薩摩中央高校ダンス部によるパフォーマンス」「しび保育園児による太鼓」「薩摩中学校吹奏楽部の演奏」「稼木美優歌謡ショー」などが行われました。

午後6時を過ぎ、辺りが薄暗くなると、いよいよ青森県鶴田町から寄贈された「ねぶた」の登場です。

鶴田町から来られた、離子方やハネト（踊り手）と、さつま町の踊り手も一緒になって、まつりを盛り上げます。その後ろを幅5m、高さ4mの「ねぶた」が登場すると、歓声も一段と高くなりました。

歩行者天国となった盈進小学校前の町道は、踊り手と観衆で大賑わいとなりました。



# 健やかな子どもを育成を願って！

## ワクチンの接種費用を一部助成

さつま町では、「子どもを育てるならさつま町で」の実現のため、子育て支援のひとつとして、ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン、肺炎球菌ワクチン、水痘ワクチン、おたふくかぜワクチン（流行性耳下腺炎）、女性のための子宮頸がんワクチンの任意接種費用の一部を助成することになりました。



※任意接種とは、希望者が自費で受ける予防接種です。子どもに受けさせるかは、保護者の判断になります。  
 ※本予防接種により疾病にかかり、障害の状態になり、又は死亡した場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法の規定に基づく副作用救済給付に基づく補償を受けることができます。

肺炎球菌やインフルエンザ菌b型は、乳幼児に多く発生し、細菌性髄膜炎の原因の約90%を占め、敗血症等の重い病気を引き起こし、死亡例や後遺症例も発生しております。

子宮頸がんワクチンは、がんの発生を予防できる唯一のワクチンとして、テレビなどでも取り上げられております。これらのワクチンは、高価なために接種者が少ない状況でしたので、保護者の経済的負担の軽減を行い、乳幼児の健全育成と町民の健康増進に努めます。

### ●助成の対象者は、接種日においてさつま町に住所を有する下記の方

ワクチンの種類	助成の対象者	1回あたりの助成金額の上限
ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン	生後2か月～5歳未満	5,000円
小児用肺炎球菌ワクチン	生後2か月～5歳未満	6,000円
水痘ワクチン	1歳～5歳	4,000円
おたふくかぜワクチン	1歳～5歳	3,000円
子宮頸がんワクチン	中学1年生～高校3年生の女子	10,000円

### ●接種できる医療機関及び接種料金

町内の実施医療機関一覧表及び県内の産科婦人科のある医療機関で接種できます。1回あたりの接種料金は、ワクチンの種類により医療機関で異なります。詳しくは医療機関にお尋ねください。

### ●接種の方法

ワクチン準備等のため予約及び補助金申請が必要です。  
 役場で補助金申請をします  
 医療機関に接種の予約をします。  
 医療機関にある予診票に記入後、接種を受けてください。

### ●医療機関に持参するもの

- ・母子健康手帳
- ・補助金申請書（役場健康増進課に配置しています）  
（対象者への個別送付はしておりませんので、健康増進課でもらってください。）
- ・印鑑（朱肉を使う印鑑）
- ・乳幼児または接種者がさつま町民であることを示す書類  
（乳幼児医療費助成金受給者証、健康保険証など）住所が確認できるものをお示してください。

### ●補助の申請

上記の「医療機関に持参するもの」を、医療機関の窓口で示していただき、適切に記載・押印した「補助金交付申請書」を医療機関へ提出してください。



### ●接種料金の支払い

町内医療機関での支払いの際は、「接種に要した費用から、町の1回あたりの補助額を差引いた接種料金」を自己負担額としてお支払いください。

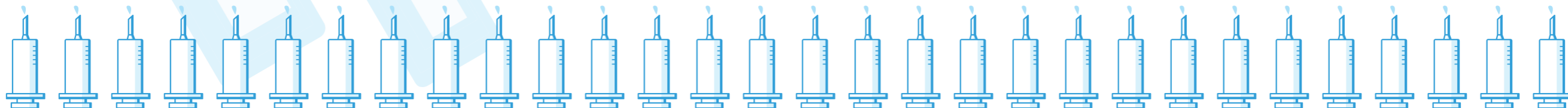
町外の医療機関で接種した場合は、「接種に要した費用の全額」を支払後、さつま町任意予防接種助成金交付請求書に母子健康手帳、領収書、振込のための通帳の写し等を添えて健康増進課に提出してください。

※なお、平成22年10月1日以降にこれらの任意予防接種を接種済みの場合は、接種した医療機関の領収証、母子健康手帳、振込のための通帳をお持ちいただき、健康増進課で助成金の交付申請をしてください。

### さつま町内の実施医療機関

予防接種の種類 医療機関名	子宮頸がん ワクチン	ヒブ (Hib) ワクチン	小児用肺炎 球菌 ワクチン	水痘 ワクチン	おたふくか ぜワクチン
稲津病院					
海江田医院					
木原医院					
クオラ リハビリテーション病院					
相良医院					
さくらクリニック					
さつまクリニック					
立志病院					
林田内科		(1歳以上)	(1歳以上)		
益寄医院					
東内科クリニック					
鶴田中央病院					

お問い合わせ先: 役場 健康増進課 健康増進係（内線2143）



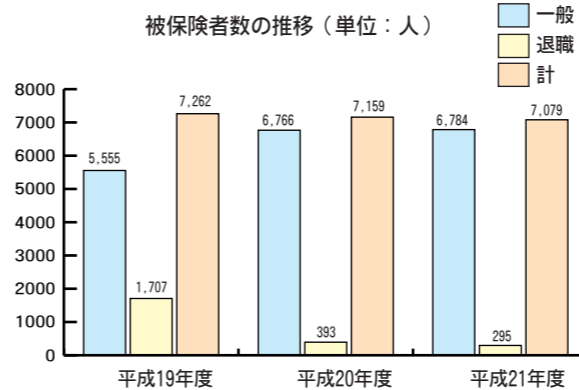


# 国民健康保険の医療費

本町国民健康保険の医療費についてお知らせします。  
国民健康保険制度は、加入者の保険税と公費（国・県・町）負担で賄われています。限りある医療費です。医療費の節約にご協力をお願いします。

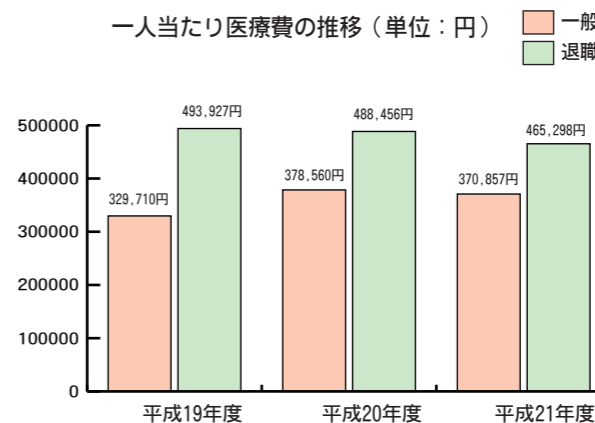
## 1 被保険者数の推移

国民健康保険の加入者数は、この3年間で少しずつ減ってきており、町の全人口に占める割合は、平成22年3月末現在では28.7%です。  
平成21年度では、一般の加入者（74歳以下で退職を除く）6,784人、退職（主に会社などを退職されて国保に加入された方）2,955人の計7,079人となっています。



## 2 1人当たり医療費の推移

被保険者数は減少傾向ですが、一人当たり医療費は増加傾向にあります。21年度では、一般37万8,577円、退職46万5,298円となっています。  
これは、「生活習慣病の増加」「医療技術の高度化」「高齢者人口の増加」などが考えられます。



## 3 疾病分類別医療費

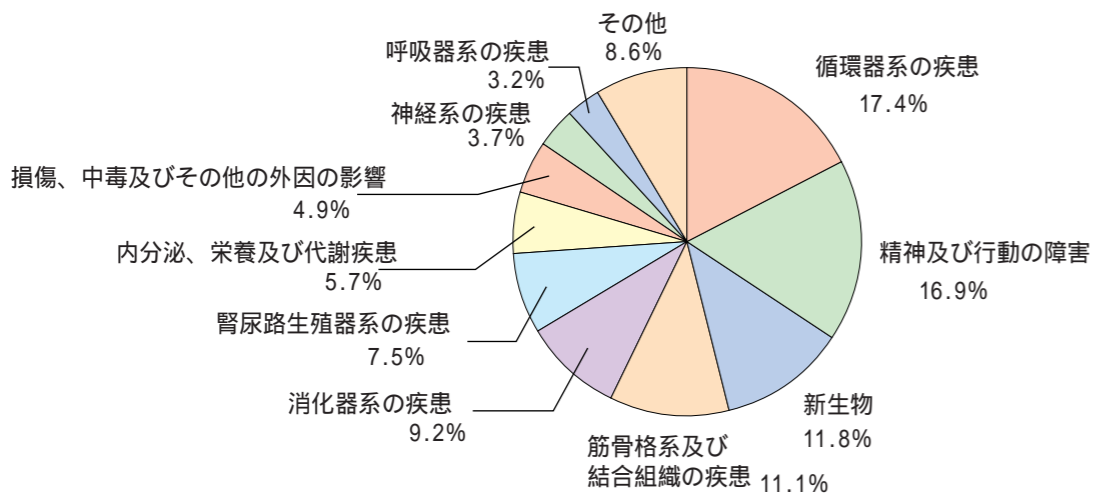
使われた医療費について、大分類疾病ごとに見てみましょう。平成21年5月診療（入院+入院外）分で見ますと、1億7,919万1,260円が使われ、第1位が「循環器系の疾患」、第2位「精神及び行動の障害」、第3位「新生物」の順となっています。

- 1位：循環器系の疾患（高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞など）
- 2位：精神及び行動の障害（統合失調症、気分（感情）障害、神経症性障害など）
- 3位：新生物（胃の悪性新生物、大腸の悪性新生物など）
- 4位：筋骨格系及び結合組織の疾患（関節炎、脊椎障害、腰痛及び坐骨神経痛、肩の障害など）



**1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ！**  
**～生活習慣を見直し、健康を守ろう！～**

## ■ 疾病分類（平成21年5月診療） 〔入院+入院外〕



## 4 生活習慣病に対応した健康診査

これまで、疾病の早期発見・早期治療を重点とした健康診査が進められてきました。生活習慣病関連の医療費が増加するなかで、平成20年から生活習慣病に着目した「特定健康診査・特定保健指導」制度がスタートしました。

さつま町国民健康保険では、各地域ごとの集団健診を基本に、指定医療機関（平成22年度は町内の16医療機関）で実施しています。特定健康診査の受診率は、平成20年度が39.2%・平成21年度は42.5%となっていますが、国の受診率基準値60%には遠く及ばない状態です。

特定健康診査は皆様の生活習慣病の予防と健康の保持・増進のために実施するものであり、年に1回の特定健康診査・特定保健指導を必ず受けましょう。

## 5 医療費を節約するには

年々医療費は増加傾向にあり、今後も増えていくことが予想されます。医療費が増加すると、国民健康保険の財政を圧迫し、国民健康保険税の改正が必要と

なってきます。

① 私たちが、医療の受け方を少し見直すだけで医療費を節約することができます。

② **かかりつけの医師を持ちましょう。**  
医師を信頼し、指示を守り、不安や疑問についてもきちんと聞きましょう。

③ **急病以外は、夜間・休日の受診は控えましょう。**

④ **お薬手帳を活用しましょう。**  
投薬の重複による体への負担や副作用を防ぐことができます。

⑤ **薬は用量・用法を理解して正しく使いましょう。**  
薬は適切な用量・用法を守って効果がありません。自分の判断で量を加減したり中止したりすると、薬が効かなくなったり、体に悪影響を及ぼしたりする場合がありますので、指示された用量・用法を守って、正しく使いましょう！

お問い合わせ

本庁 健康増進課 保険係  
（内線2141）



平成22年度第1回の行政改革審議会を10月26日に開催し、

(1) 平成21年度行政改革実施計画の実績

(2) 第1次行政改革の総括

(3) 第2次行政改革推進計画(案)及び実施計画(案)について審議がなされました。

今回の審議会では、「第1次さつま町行政改革大綱」が平成21年度で計画期間を終了したことに伴い、平成21年度の実績と共に第1次行政改革の総括を行いました。

また、平成22年度から始まっている第2次行政改革について、その具体的取り組み事項とその評価方法について説明を行い、ご意見をいただきました。



### 3 協働のまちづくりの実現

自主的なまちづくりが可能となる環境が整う中で、各自治体の自らの決定と責任でまちづくりを進めることが強く求められています。厳しい経済情勢や情報化社会の進展、住民ニーズの多様化・高度化などを背景に、住民参加による協働のまちづくりが必要となってきています。

そのためには、行政情報の積極的な提供を進め、住民と共に考え、参画できる協働の仕組みづくりが必要であり、毎月1回発行の広報紙をはじめ、防災行政無線、町ホームページ等を通じ、詳細で新しい行政情報の提供に努めています。

協働のまちづくりを進めるためには、地域等が元気なことは必要不可欠な事項であり、地域の自主的活動の促進を図るため「地域活動支援事業」による支援活動を行いました。地域における担い手の高齢化や人口減少が進み、地域の活力が減退傾向にあるため、地域活力を維持・発展させるための方策として「公民館、公民会」合併の推進に取り組みました。

《公民会数》 154公民会(H17.04.01) ⇒ 140公民会(H22.04.01)

### 第2次行政改革推進計画(案)及び実施計画(案)について

「第2次さつま町行政改革大綱」に基づく4つの柱と14の推進項目に基づき、38の事業を行財政改革推進計画に位置づけ取り組んでいくこととしています。

この事業ごとに、5カ年計画を定め、年度ごとに実施内容及び事業の進捗を確認しながら進めていきます。

この事務事業の評価については、5カ年実施計画の進捗状況をAからEまでの5段階評価とし、単年度ごとの事業評価を効率性、有効性、必要性の3項目に分け、5から1までの点数化を行う評価とします。

取り組み事業の内容及び評価については、毎年、町行政改革審議会及び町議会へ報告を行い、広報紙等において町民の皆様へもお知らせをしております。

### ◆◆審議会における主な質疑応答◆◆

Q1) 経常収支比率が改善傾向にあるが、政府の緊急経済対策事業関係の交付金が影響しているのではないか。

A1) 改善には国の臨時交付金等の影響もあると考えていますが、これがない場合においても各種の経常経費削減努力により、改善していると考えています。

Q2) 税金の滞納額について状況はどうなっているか。

A2) 厳しい経済情勢を受け増加傾向にあります。町では税金だけでなく使用料や手数料を含む一体的な債権への取り組みを進めており、悪質な事案については、法律に基づき給与や不動産・不動産の差押え、裁判を起こす訴えの提起も行っています。

Q3) 女性職員の比率はどの程度か。

A3) 女性職員の数は88名で、全職員の約2割を超える程度です。役職登用率は未だ低い状況です。

Q4) し尿処理関係については、合併浄化槽の普及等により需要が減少傾向にある中において、行政改革へ向けた取り組みを進めていく必要があるのではないか。

A4) し尿とゴミ処理の業務については、民間委託できるところとできないところ、民間委託をする時期等について、現在検討を進めています。

Q5) 総合支所方式から支所方式に変更されたが、これに関しては住民からの意見等を把握されたのか。

A5) 鶴田、薩摩の総合支所を支所に本年4月から変更しました。現在、鶴田支所に23名、薩摩支所に24名の職員を配置しています。

実施に当たっては、地域審議会や各区ごとの座談会等を通じ説明を行いながら、組織改革について理解を求めてきました。

支所に移行する際に、直接町民が関係する事業課である農政課や主たる窓口業務である町民課、税務課の係を配置して対応を整えています。

Q6) 役場でパスポートが取れると話を聞いたがいつ頃からか。

A6) 様々な権限移譲項目がある中で、町民の利便性の向上につながる事務を積極的に進めるため、パスポート関係事務を来年度から実施するように事務作業を進めています。

Q7) 鶴田・薩摩両支所の有効活用策は。

A7) 両支所とも旧町時代には百名近くの職員が勤務していた庁舎であり、現在の職員配置からすると空きスペースが存在しています。

鶴田支所については、商工会の事務所としての貸し出しや九州電力の災害時の仮事務所としての契約を結び、施設の有効活用を図ることとしています。

薩摩支所については、行政の外部団体の事務所やその他有効的活用方法を検討しているところです。

### 第1次行政改革の総括(概要)

#### 1 財政危機を克服できる経営体制の確立

平成17年度の合併時における財政状況は、各財政指標(当初予算規模、経常収支比率、実質公債費比率)等において健全財政状況とはいえない厳しいものでありました。

また、平成18年7月の県北部豪雨災害で甚大な洪水被害が発生し、迅速な災害復旧、復興への対応を進め、一方では一体感の醸成を進めながら行政改革を推進するなど、厳しい舵取りが続きました。

こうした中「財政健全化計画」を策定し、各財政指標について目標値を掲げ、取り組みを進めました。この取り組みは、第2次行政改革においても進められています。

(1) 当初予算及び決算規模の推移

(単位:百万円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
当初予算(歳入歳出)	15,199	13,813	13,620	12,929	12,765	
決算 (普通会計)	歳入	16,279	16,839	16,319	14,940	15,905
	歳出	15,684	16,160	15,453	13,932	15,092

(2) 経常収支比率の推移

(単位:%)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
経常収支比率	100.4	98.1	98.2	98.0	91.4

経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標。毎年度経常的に収入される財源(地方税、地方交付税等)のうち、毎年度経常的に支出される経費(人件費、扶助費等)に充てられた割合のこと。

(3) 実質公債費比率及び地方債残高の推移

(単位:%、百万円)

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
実質公債費比率(3か年平均)	20.2	19.9	19.5	18.5	18.0
地方債残高	23,625	23,007	21,684	20,313	19,070

実質公債費比率とは、自治体の収入規模に対する借金返済額の割合。

#### 2 簡素で効率的な行政システムの確立

合併時には、本庁及び2総合支所で36課102係425名の職員でスタートし、組織の肥大化や、スピード感ある自治体の意思決定機能が発揮されにくい、本庁が狭く、複雑でわかりにくいなどの課題が生じていました。地方分権の進展、自治体への権限移譲の本格化に見られる所管事務の増大、専門性の発揮など高度な行政能力を必要とすることから、「町人材育成基本方針」及び「町定員適正化計画」を策定し、職員の人材育成や組織の再編、職員数を適正規模にするための取り組みを進めてまいりました。

《組織再編》36課102係(H17年度) ⇒ 30課79係(H21年度末)

《職員数》 425人(H17.04.01) ⇒ 356人(H22.03.31) 減数 69人



後輩にエール!

薩摩中央高校教育講演会

11月9日、薩摩中央高等学校において、同校第1期卒業生で歌手の榎木美優さんを講師に招き、教育講演会が開催され、生徒や関係者約550人が参加しました。教育講演会は、「将来の夢や目標を持ち続けてほしい」という事を目的に、さつま町高等学校振興対策協議会が主催したものです。榎木さんは講演で「人との出会い、人の支えがあったから歌手になれた。出会いを大切にし、いつまでも感謝する気持ちを忘れないでほしい。」と歌手になるまでの経験等を話されました。また、講演後、歌を披露していただき、プロの歌唱力に会場から歓声が沸きあがりました。



「さつま町民音頭」のCDを販売します!

さつま町5周年記念事業の一環として制作された「さつま町民音頭」のCDを販売します。ご購入を希望される方は、左記の販売所にて購入ください。  
販売価格 1枚500円 (税込)  
販売所 役場 商工観光課 鶴田・薩摩支所総務係



講演後に歌を披露する榎木さん

叙位伝達式

故・古里信義さん

11月5日、元薩摩町消防団長で今年9月に逝去された故・古里信義さん(享年83歳)に対する叙位の伝達式が町長室で行われ、日高町長からご遺族に従六位の位記が伝達されました。古里さんは、昭和26年から平成3年まで40年の永きに渡り薩摩町消防団に在団され、昭和45年からの20年間は薩摩町消防団長として、地域住民の生命財産を守り、消防団員の育成強化や火災予防の普及に努めるなど、消防団活動に大きく貢献されました。また、その功績が認められ平成14年には勲五等瑞宝章を受章されています。



伝達式終了後の様子

消防団協力事業所 表示証を交付

10月28日、消防団協力事業所として認定した2事業所に対し、消防長と消防団長が表示証を交付するため事業所を訪問しました。これは消防団活動に協力している事業所を「協力事業所」として認定するとともに、表示証を交付し、地域全体でその社会貢献を認め合おうというもので、今回の2事業所を併せ、現在20事業所を認定しています。新規認定事業所は次のとおりです。  
・上園建設株式会社  
・有限会社 新改瓦工業



上園建設(株)での交付

みんなで奏でた音楽!

小・中学校音楽発表会

第6回町小・中学校音楽発表会が11月11日、宮之城文化センターで開催されました。子どもたちは日頃の練習の成果を発揮し、健やかな歌声や熱のこもった演奏などを披露してくれました。講師の川薩地区音楽教育連盟会長の遠矢貴先生(薩摩川内市立隈之城小学校長)から「さつま町の学校には、音楽を通じた教育活動が息づいていると感じた」との感想をいただきました。子どもたちは互いの発表を聴くことで、そのよさを認め合い、よい刺激を受けることができたようです。



会場内の参加者全員で「もみじ」の大合唱

グランプリに輝く

KYBふなやCM大賞

10月29日、鹿児島市で、鹿児島放送主催の『KYBふなやCM大賞2010』の審査会が開催され、本町から出品した作品が見事グランプリに輝きました。30秒間で地域のPRをいかに行うかが競われるこのイベントに今年は、県内の31市町村から36作品が出品されました。本町からは「ホテル舟」と「地域の民話」を題材にした2作品を出品し、役場若手職員を中心に制作したホテル舟の作品がグランプリとなりました。副賞として作品は、1年間KYBの番組内で150本放送される予定です。



山本晋也審査委員長と記念撮影をするスタッフ

全国中学バレー大会

県選抜選手に選出!

第24回全国都道府県対抗中学バレーボール大会(JOCCジュニアオリンピックカップ)に出場する鹿児島県選抜チームの選手として、本町から宮之城中学校男子バレーボール部の帖佐圭祐さん(3年)と羽子田将さん(2年)が選ばれました。2人は、12月末に行われる全国大会に向けて、ほぼ毎週行われる選抜チームの合宿や遠征に参加しています。大会での活躍が期待されます。



帖佐圭祐さん(左)と羽子田将さん

大会名 第24回全国都道府県対抗中学バレーボール大会(JOCCジュニアオリンピックカップ)  
期日 12月25日、28日  
会場 大阪市立中央体育館

共生協働の地域へつなぐ

11月2日、鹿児島市の宝山ホールで「水土里サークル活動シンポジウム」が開催されました。水土里サークル活動とは、農地・農業用水等の資源を地域ぐるみで支えていく「農地・水・環境保全向上対策」の愛称で、県内に530組織、町内に9組織が活動を行っています。シンポジウムでは、平川地区の下平川集落環境保全組合の軸屋豊代表が事例発表をし、県内各地の組織や市町村担当者ら約千人が聞き入りました。また、農業・農村環境保全に対する意識向上を図るために、創意と工夫に富んだユニークな取り組みを実践している優良地区として表彰されました。



発表をする軸屋さん

梅の本場に学ぶ!

11月4日、町梅振興会主催の南高梅(商標登録)薩摩西郷梅の剪定講習会が和歌山県より講師を招いて行われました。本年産の梅は、3月中旬の凍霜害で大きな被害を受けましたが、来年の生産に向けて剪定の意義や基本を学びました。



和歌山県の生産農家、小山氏による講習

見事準優勝!

全国ジュニア自転車競技大会

10月24日、三重県四日市市で開催された、全国ジュニア自転車競技大会で、山崎小学校4年生の山口若葉さんが、準優勝しました。山口さんは、2年前からトライアスロン競技に取り組み、週末のバイク練習で多いときは60キロ以上走ることもあります。また、今年4月からは山崎バレーボールスポーツ少年団にも入部して心身を鍛えています。



表彰台の山口さん

◆もつとニュース◆ 脳のすこやか塾修了式



求名会場での修了式

11月中旬、脳のすこやか塾の修了式がありました。6月より認知症予防として週1回学習してきた脳のすこやか塾は町内4会場で学習者とサポーターが、かんなんな計算等に取り組んでいます。今後も介護予防の学習を続けられるそうです。



明日の親となる児童・生徒のための子育て理解講座

「一日保育体験」

町内各小・中学生及び薩摩中央高校生57人が、町内各保育園（所）の協力をいただき、一日保育を体験しました。

この一日保育体験は、将来親となる児童・生徒に、乳幼児とのふれあいなどを通して、家庭や子育ての大切さについて理解を深めてもらうものです。

はじめは、どう接してよいかためらいがちな様子も見られましたが、時間とともにすつかりうち解け、園児との遊びに夢中でした。園児と接している参加者の何ともいえないにこやかな表情が印象的で、このような機会が地域でも多く持たれたらと思うことでした。



園児と接する、薩摩中央高校生徒



ハロウィンの絵本の読み聞かせ

「お話の部屋」スペシャル開催

幼少のときから本に親しもう！

10月23日、鶴田中央公民館で、「お話の部屋」スペシャルが開催されました。幼少のときから本に親しんでもらおうと毎月の「お話の部屋」のほかにスペシャル版として3図書室で年3回開催しています。

今回は、保育園児やお母さんと一緒に参加した子どもたちなど約110人の参加がありました。大型絵本の読み聞かせや紙芝居、クイズなどあり、子どもたちも瞳を輝かせ熱心に聞き入って絵本の世界に引き込まれているようでした。町図書室では、これからも定期的に「お話の部屋」を開催しますので、ぜひ参加ください。

電源立地地域対策交付金に関する要望

水力発電施設が所在している市町村に対し、電源立地地域対策交付金（水力発電施設周辺地域交付金相当）が交付され、道路改良や学校施設の整備、その他公共施設の整備などに活用されています。この交付金は私たちが支払う電気料金の一部が財源となっています。



民主党渡辺恒三最高顧問への要望

11月2日、鹿児島県市町村自治会館において、各期成会による県への要望活動が、県土木部次長の屋島明人氏ら関係課長などに対して行われました。地域高規格道路「北薩横断道路」の整備促進については、主に、鹿児島空港から北薩空港道路間及び薩摩道路から泊野道路間並びに紫尾道路から南九州西回り自動車道阿久根北IC間の調査区間への早期格上げを図るよう、強く要望されました。

また、国道328号の整備促進については、本町下船木地区から地域高規格道路（国道504号）間の整備促進などを要望されました。



県への要望行方、日高町長

本町では、鶴田ダムが発電施設として交付金の対象施設となつていますが、昭和56年から交付されてきた交付金が平成22年度で期限切れとなる予定であったため、関係市町村で構成された全国協議会で、制度継続等の要望を行ってきました。その結果、交付金を恒久的に交付する代わりに、交

町シルバー人材センター奉仕作業

10月30日、町シルバー人材センター会員による、奉仕活動として清掃作業が行われました。

これは、シルバー事業の普及啓発活動の一環として行われたもので、会員それぞれが所属する班ごとに作業区域を分けて町内10箇所を2時間程度の作業が行われました。

この日は、会員172人が作業に参加し、秋のイベントを控えた会場周辺はみるみるうちに、きれいになっていきました。また、作業終了後は、会員相互の交流を図るためにグラウンドゴルフ大会も行われました。



宮之城鉄道記念館前を作業するシルバー会員



表彰式の様子

生誕150周年記念 第33回西郷菊次郎 顕彰剣道大会

11月14日、第33回西郷菊次郎顕彰剣道大会がB&G海洋センターで開催され、団体戦に70チーム、個人戦に279人が出場（本町からは団体5チーム、個人戦23人）し、少年少女剣士達が日頃の練習の成果を競いました。

この大会は、青少年の健全育成を願う文武両道の人材育成に当たった西郷菊次郎氏の功績をたたえて毎年開催されています。

また、今回の大会から、西郷菊次郎氏の未裔で、日置南州憲代表の西郷隆文様より大会入賞者に副賞として陶器が贈られることになりました。町内出場者の結果は次のとおりです。

【個人戦】  
第3位 大田一徹  
(さつま剣友会)



来場者に町をPRする、日高町長と中尾議長

さつま割りはいかが

11月2日、鹿児島市のマールガーデンズで「焼酎のお茶割り試飲会」が開催され、本町からは、地元焼酎とさつま茶・薩摩西郷梅を出品しました。当日は、町長・議長をはじめ関係者が来場者に試飲・試食でおもてなしをしました。おはら祭りの前夜祭ということもあり、多くの来場者で賑わいました。



★場所：小笠原諸島（東京晴海埠頭発）  
★対象者：小学校4年生から中学校3年生の男女  
★研修内容：カヌー ホールウォッチングなど  
★申込期限：平成23年1月31日まで  
★お問い合わせ先：教育委員会 薩摩教育係  
53-1111（内線6162）  
直通 57-0970



感謝状を手にする川津さん

農林水産大臣 感謝状を受賞 川津柱さん

10月18日、農林水産統計調査に永年協力された、川津柱さん（田原）に農林水産大臣から感謝状が贈られました。

川津さんは、農業経営に係る収支を記帳する、農業経営統計調査に5年間にわたり協力されました。この調査結果は、農業経営の実情を把握することにより、今後の農林水産行政推進の基礎資料として幅広く活用されるものです。

平成22年度 人権啓発標語・ポスター 作品審査結果  
12月の人権週間にちなんで、町内の児童生徒から人権啓発の標語・ポスターを募集しました。審査の結果、特選に選ばれた児童生徒と標語の紹介をします。

【人権に関する標語】特選  
ごめんなさい  
あしたじゃなくて  
今言おう  
求名小2年 磯部洗希

人もいや  
自分がされて  
いやなこと  
盈進小4年 井川弥玖

人権を  
守るお手本  
家庭から  
紫尾小6年 増穂和博

泣き顔を  
笑顔にかえる  
思いやり  
宮之城小2年 大平拓巳

【人権ポスター】特選  
流水小1年 小原光莉  
永野小2年 黒田皓大  
平川小3年 井関愛哉  
柏原小4年 宮脇優璃  
佐志小5年 中間初音  
永野小6年 岩下香生  
宮之城小2年 村田実奈美





ライフスタイルや価値観の多様化により、晩婚化や未婚者が増加している近年ですが、これは人口問題に起因する様々な社会制度にも大きく影響しています。地方においても、高齢化や人口の減少が進み、農業や商工業をはじめとした後継者の育成・確保にも大きく影響しています。そのため、町としても地域やボランティア団体などが主催する出会いのイベントを支援しています。

# やっぱり 二人が楽しい!

## ■ “アイビス倶楽部” の活動紹介 ■

“アイビス倶楽部”は、春には霧島トレッキング、夏は川原でバーベキュー大会など、年間を通して様々な活動を楽しむ独身者限定の会員制倶楽部（レクリエーション青年団）で、平成22年4月に発足されました。出会いやふれあい交流の場が少なくなってきた中で、自然な形で出会いの場を提供しようと、様々な企画で楽しく活動されています。

これまでの主な活動 [現在の会員数 男性15人、女性18人]

実施月	内容	実施月	内容
5月	みやまきりしまトレッキング	9月	ゴルフレッスン会
7月	サマーキャンプ (熊本県人吉市1泊2日)	10月	鹿児島市内をウォークラリー
8月	サマーナイト花火大会見物	12月 (予定)	おれんじ鉄道イベント列車で忘年会

### ～◆一緒に仲間づくりをしませんか!?◆～

- 入会条件 ・年齢20歳から35歳くらいまでの独身者  
 ・男性：さつま町または伊佐市にお住まいかお勤めの方  
 現在、女性メンバー急増中のため、特に男性を募集しています!!
- 活動日 ・土・日・国民の休日の活動で、年間を通して7回程度予定
- 入会金 ・1,500円(3年間有効)  
 倶楽部活動の際は、入会金とは別に2～3千円程度の費用が必要です。

○お申込み・お問い合わせ先  
 アイビス倶楽部 設立事務局  
 (インターナショナルゴルフリゾート京セラ内)  
 Tel.0996-57-1313 池田・下大迫

○お問い合わせ先  
 さつま町役場 企画課 地域振興係  
 (内線2226)

アイビス倶楽部  
男性メンバー募集!

## 鶴田Aが3連覇

### ■第6回さつま町駅伝競走大会■

11月7日、第6回町駅伝競走大会が町内17区間28.4kmで行われ、町内8チームの選手たちが地域を代表し、健脚を競いました。  
 レースは序盤、宮之城北部Aチームがリードし、中盤には一昨年・昨年優勝の鶴田Aチームが巻き返しました。  
 終盤も順位は入れ代らず、鶴田Aチームが3連覇を達成しました。  
 沿道では、多くの方が、力走する選手へ声援や拍手を送り、大会を盛り上げました。  
 今回の大会では、2個の区間新記録が誕生しました。



▲ 優勝目指して各チーム一斉にスタート

▼ 優勝した、鶴田Aチーム



#### 総合順位

順位	チーム名	記録(時間分秒)	チーム構成
優勝	鶴田A	1時間38分41秒	鶴田・神子・紫尾 柏原
準優勝	宮之城北部A	1時間41分45秒	虎居・平川・泊野 白男川・終野
3位	宮之城ほたる	1時間42分54秒	時吉・佐志・湯田
4位	宮之城屋地船木	1時間45分03秒	宮之城屋地・船木
5位	宮之城山崎	1時間47分17秒	山崎・久富木・二渡
6位	鶴田B	1時間49分20秒	鶴田・神子・紫尾 柏原
7位	薩摩	1時間50分08秒	求名・中津川・永野
8位	宮之城北部B	1時間51分19秒	虎居・平川・泊野 白男川・終野

#### 表彰(5回出場選手)

氏名	チーム
1 草ノ瀬 大将	宮之城屋地船木
2 井上 忠彦	宮之城屋地船木
3 高岩 宗浩	宮之城屋地船木
4 東條 和廣	宮之城北部A
5 甫立 幸次朗	宮之城北部A
6 平田 水穂	宮之城北部A
7 松井 喜信	宮之城北部B
8 東條 裕輔	宮之城北部B
9 斐田 尚宏	宮之城ほたる
10 豊増 浩三	宮之城ほたる
11 井上 悟	鶴田A
12 東 也真登	鶴田A
13 米丸 満男	鶴田A
14 萩木場 啓三	鶴田A
15 大園 栄一	鶴田A
16 井上 雄太	鶴田A
17 橋之口 廣行	鶴田B
18 栗山 誠	薩摩

#### 区間賞

走区	距離(km)	走者	氏名	チーム名	記録(分秒)	備考
1	2.10	29歳以下	木原 圭介	宮之城北部A	6分16秒	
2	1.35	中高生女子	上大迫 みなみ	鶴田A	4分51秒	
3	2.05	中高生男子	玉利 健志	鶴田A	6分27秒	
4	2.55	フリー	東條 和廣	宮之城北部A	8分04秒	
5	1.25	一般女子	祝迫 さおり	宮之城山崎	4分42秒	区間新
6	1.35	40歳代	井上 悟	鶴田A	4分36秒	
7	2.05	29歳以下	東 也真登	鶴田A	6分35秒	
8	2.25	中高生男子	和泉 勝也	宮之城北部A	7分07秒	
9	0.95	50歳代	高岩 宗浩	宮之城屋地船木	2分58秒	区間新
10	1.20	小学生女子	永野 明里	宮之城ほたる	4分48秒	
11	1.40	30歳代	萩木場 啓三	鶴田A	4分40秒	
12	1.65	中高生女子	上埜 早稀	鶴田A	5分27秒	
13	1.65	小学生男子	日高 皓介	宮之城ほたる	6分06秒	
14	1.35	小学生女子	内山 紋光	宮之城北部A	5分46秒	
15	1.80	30歳代	大園 栄一	鶴田A	5分36秒	
16	1.35	小学生男子	久留須 保杏	鶴田A	5分03秒	
17	2.10	中高生男子	井手之上 紘輔	宮之城ほたる	7分07秒	



5回出場選手の表彰の様子



双子の姉妹で第5走区を走った、鶴田チームの西之園美穂さん、千秋さん(左から)

## 新規認定農業者の紹介

(平成22年10月26日認定)

10月26日、役場町長室において、3名の方が認定農業者に認定され、農業経営改善計画認定書の交付が行なわれました



石塚 好光(60歳)  
 鶴田  
 生産牛+露地野菜+水稻  
 優良牛の育成に努力します



柳田 孝行(56歳)  
 鶴田  
 養豚一貫  
 飼養管理の徹底により安心安全な豚肉生産に取り組みます



上 典幸(54歳)  
 中津川  
 生産牛+水稻  
 目標達成に向けて頑張ります!



# 我が校の特色ある教育活動

町内の小中学校では、どの学校も町長マニフェストを踏まえた特色ある教育活動が行われています。各学校の取り組みを、毎月2校ずつ紹介していきます。今月は、山崎小学校と鶴田中学校です。



正留隆一 校長

校訓 「明るく なかよく たくましく」  
本校のキャッチフレーズ  
「ふるさと山崎の人・物・事のフル活用」  
児童113人 7学級 職員15人 PTA84戸



加塩和宏 校長

校訓 自主 勤勉 忍耐 友情 敬愛  
本校のキャッチフレーズ  
「花とボランティアの心が薫る学校 鶴田中学校」  
生徒151人 6学級 職員23人 PTA134戸

## 山崎小学校

- 1 確かな学力向上を目指した小・中合同研修
- 2 豊かに表現できる子どもの育成を目指して
- 3 PTAや地域と連携した体験活動の充実

山崎中との密な連携により、教職員の合同研修に年4回取り組んでいます。小中別の研究授業での指導法の研究・児童生徒の学力の把握等を通して、確かな学力の定着に努めています。



学校経営方針に「感動する豊かな心の育成」を掲げ、読書活動の充実を図っています。朝の読書や音読・保護者の「読み聞かせ」等子ども読書意欲を喚起し、言語感覚の向上にも努めています。



本校では、『さつま学』の計画に基づき体験活動の充実に努めています。例えば、5年生では、総合的な学習の時間に取り組んでいる「米作り」で、保護者と密な連携を図っています。米作りの準備から収穫まで、子どもの動きを主にしながら、脇から保護者がきめ細かに支援しています。米作りの最初の仕事は、苗箱に種籾を蒔くことです。この段階では、親子で均一になるよう丁寧に蒔く姿が見られます。



## 鶴田中学校

- 1 ボランティア活動の充実
- 2 基礎・基本の定着（学力向上への取り組み）
- 3 体験活動の充実

「清掃活動」を通し、マナーや公共心を高めさせる校区内の清掃活動を年2回実施しています。また保護者と一緒に校区内をまわり、一升瓶・ビール瓶等を集める資源回収、体育大会前の校内清掃作業にも汗を流しています。保護者の新しい活動として『おやじの会』の活動も始まりました。「門松づくり・体育大会緑門づくり」に楽しく頑張っています。



基礎・基本の定着や学力の向上を目指し、わかる楽しい授業の実践や授業の3ポイント（めあての明示・言語活動の充実・まとめ10分の取組）を充実させています。具体的には、継続・集中した学習、ドリル学習、小テストの実施、

豊かな人間性や社会性を育てるために、様々な体験活動に取り組んでいます。1年生 福祉（アイマス）体験・車椅子体験・高齢者疑似体験・介護体験・手話・点字）と高齢者とのふれあい活動（竹ぼうき・竹細工作り）。3年生 職場（農業）体験・各高校で



## 川内川激特・鶴田ダム再開発速報

【北薩地域振興局関連工事】  
(平成22年11月10日現在)

- 柏原地区
  - ・夜星川橋工事(4件)
- 虎居地区、宮之城屋地地区
  - ・宮都大橋工事(8件)
- 山崎地区
  - ・護岸工事(4件)
  - ・東橋工事(2件)
  - ・山崎橋工事(4件)



【国土交通省関連工事】  
(平成22年11月10日現在)

- 激特事業関連工事 計28件
  - 湯田地区
    - ・築堤護岸工事(3件)・樋門工事(1件)
  - 虎居地区
    - ・築堤護岸工事(10件)
  - 推込地区
    - ・分水路掘削工事(6件)
    - ・河道内掘削工事(2件)
  - 二渡地区
    - ・築堤工事(4件)・樋門工事(2件)
- 鶴田ダム再開発事業関連工事 計4件
  - 神子地区
    - ・工事中道路関連工事(3件)
    - ・法面処理工事(1件)

工事に伴う交通規制などについて(お願い)  
激特工事により、工事箇所周辺の町道などで通行止めや混雑が予想されます。安全を第一に工事を進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

### 《今月の現場写真》 場所：虎居地区（巨石積み護岸）

虎居地区における施工も本格的に始まりました。巨石を使用した石積み護岸の施工も開始し、昨年度施工した轟町（轟大橋下流側）と同様に仕上げるよう景観に配慮して施工が進められています。



石積み施工状況写真



指導をしながら施工をしています！

昨年度施工した石積みのように景観に配慮して施工を進めていきます！

### ■お問い合わせ先■

国土交通省川内川河川事務所 (0996)22-3271  
激特事業に関すること 工務課 志賀 三智  
鶴田ダム再開発事業工事に関すること 工事課 猪野和歌人  
激特事業工事に関すること 宮之城出張所 宇都 薫  
(0996)53-1756

鹿児島県北薩地域振興局 建設部  
河川港湾課 河川砂防第2係 係長 木佐貫浄治  
(0996)23-5151



今回は、さつま町の美しい自然環境の保全についてお伝えします。



不法投棄は、絶対にダメだめ！  
あなたのポイ捨てから美しい自然や景観が失われていきます



11月7日に蘭牟田池の外輪山（さつま町久富木側）でロッククライミングをされている方々と役員職員有志で結成されている「さつまエコまめ隊」地域住民の皆さんで不法投棄の回収を行いました。当日は、120人を超える参加者が集まり、合計860kgのゴミを回収しました。投棄されていた主なものは、空き缶・空き瓶、テレビや掃除機、電子レンジ等の家電製品、タイヤなどでした。残念なことには、空き瓶を不燃物の袋に入れられた状態で捨てられているものも見受けられました。

この活動を企画されたかごしまツリーズムの福岡彰さんは、「クライマーが山に道具を担いで入っていくと、ゴミを捨てる人たちが勘違いをされてしまう。この活動が、少しでも不法投棄の抑止力やクライマーの認知につながればいいと思います」とおっしゃっていました。

なお、今回の活動は、ロッククライミングをされている方々が、普段山を使わせてもらっているお礼として計画されたものです。



広告 薩摩郡医師会病院診療案内 (H22.5.27～)

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	神野	神野		神野	神野	
神経内科		花田	花田		花田	交替制
救急科	益崎	益崎	益崎	益崎		
循環器内科			福岡	堀之内(第2・第4)	早川	
消化器内科				倉元	倉元	倉元
外科	緒方	緒方		緒方	緒方	大学
整形外科	吉松	吉松	吉松	吉松		
泌尿器科	平川	平川	平川		平川	
放射線科	林田	平木		林田	林田	

※健診(人間ドック)、循環器内科、泌尿器科は予約制です。(Tel.0996-53-0326)

広告 ちくりんスタンプ会イベント情報

スタンプを貼り終えた台紙に、貼ってご利用ください。このシールを貼ってある台紙はスタンプシールをプラス10枚差し上げます。

さつま町5周年記念  
「とくとく商品券」(プレミアム10%)  
好評発売中!

ちくりんスタンプ加盟店で「とくとく商品券」使ってお買物されますと、スタンプシール2倍差し上げます。  
2倍セール期間 ~平成23年2月28日

スタンプシール  
プラス  
10枚

有効期限  
平成22年12月31日

詳細は、ちくりんスタンプ会まで ☎53-1141(町商工会内)

■くらしの情報

●お問い合わせ:さつま町役場 TEL(53)1111 FAX(52)3514

税務課 資産税係  
内線2115

●償却資産の申告について

固定資産税は、土地・家屋のほか町内に所有している償却資産(事業用資産)についても課税の対象になります。償却資産の所有者は、毎年1月1日現在の状況を1月31日までに申告してください。

税務課 収納第1係  
内線2113

●今月の納税など

固定資産税第4期  
国民健康保険税第6期  
後期高齢者医療保険料第6期  
介護保険料第6期  
【納期限12月27日】

建設課 建築係  
内線2257

●お住まいの安全の再点検を!

町では、がけ地の崩壊などにより住民の生命に危険を及ぼすおそれのある区域に建っている危険住宅を、安全な場所へ移転促進するため「がけ地近接等危険住宅移転事業」を推進しています。この事業は、危険住宅の除却等と新たに建設す

住宅(購入も含む)に要する借入額の利息に対して補助金を交付するものです。

●消防車接近!道を譲ってください。

消防車は、一刻も早く火災などの災害現場に急行し、被害を最小限にするため消防活動を行い、また、救急車も、現場で応急処置を行い、傷病者を速やかに病院へ搬送しなければなりません。そのため消防車や救急車には、道路交通法で一般の車両よりも優先して走行することが認められています。消防自動車等の円滑な緊急走行のために、皆さん一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。車は周囲の状況に配慮

消防本部  
☎(52)0119

●10月の火災・救急情報

発生件数 1件  
内訳 建物 1件

救急 出動件数 97件  
運んだ人 89人  
内訳 急病 49件43人  
交通事故 10件10人  
その他 38件36人



町民課 町民係  
内線2115

●12月4日から10日まで「人権週間」です。

人権週間は、昭和23年12月10日の国連総会において「世界人権宣言」が採択されたことを記念して採択日を「人権デー」と定め、「人権デー」を最終日とする12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定められたものです。本年で62周年を迎え、全国各地で人権に関する各種の啓発活動が実施されます。県内でも、この期間中、テレビ、ラジオスポットによる啓発放送や人権に関するポスターコンクール入賞作品展など、様々な人権啓発活動を集中的に実施します。

この機会に、皆さんも身近なことから人権について考えてみませんか。お問い合わせ先  
県庁 人権同和対策課  
☎099(286)2574

●人権問題の解決のため 法務局では人権相談を行います。

12月9日(木)午前10時から午後3時まで太陽福祉センターにおいて人権相談を行います。家族間の問題、財産・相続の問題、差別、いじめなどの問題でお困りの方は、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。

また、町内には法務大臣が委嘱した人権擁護委員があり、地域に密着した存在として様々な人権に関する相談に心じています。

本町では、次の方々が人権擁護委員として活動しています  
小松園静子(広瀬)  
松尾君子(求名)  
宮田和子(宮之城屋地)  
佐藤恵子(柏原)  
神馬場寛章(中津川)  
満留民雄(久富木)  
山元伸一(鶴田)

相談は無料で、秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。



# がんばれ 認定農業者!! シリーズ⑤⑤

さつま町求名

やまうち はつお  
**山内初男さん** 50歳



山内初男さんは、平成14年10月に認定農業者として認定され、生産牛13頭と水稲約1.2haを経営されています。「昔から牛が好きで、現在に至っていますが、畜舎や水田などの基盤整備がもっと図れれば」と経営の苦勞を話されます。地元の種苗会社に勤めながら、農業経営をされている山内さんは、地元消防団員としても地域の安全確保のために活動しています。

今後の抱負をお聞きすると「畜産をメインに、生産牛40頭を目標にしながら畜舎などの基盤整備も図っていきたい」と話されました。

## 町長交際費執行状況(10月分)

- ・10月13日 11,630円  
町PR用地元産品代
- ・10月14日 4,620円  
一般旅券発行事務研修会時
- ・10月17日 26,000円  
関東さつま会出費及び祝金
- ・10月17日 62,073円  
関東さつま会時郷土産品
- ・10月26日 53,200円  
奄美豪雨災害救援物資(飲料水)



- ### 町長の動静 (平成22年10月)
- ※主な会議及び行事を抜粋(庁内の会議、打ち合わせは除く。)
- 10月1日(金) 朝会 3役調整会議 商工会法施行50周年記念鹿児島大会(鹿児島市)
  - 3日(日) 小学校運動会(盈進小・鶴田小・永野小学校)
  - 4日(月) 庁舎建設検討委員会
  - 5日(火) いきいきシルバースポーツ大会 新幹線開業観光バス運行コース現地検討
  - 7日(木) 九州地区水源林造林協議会臨時総会(6日まで 宮崎市)
  - 7日(木) 「木の日」の要望・意見交換 町道改良整備現地検討
  - 8日(金) 決算特別委員会(総括質疑) 県保健福祉部実地調査時意見交換
  - 9日(土) 緊急消防援助隊訓練式参観(薩摩川内市)
  - 10日(日) 船木区豊年祭り
  - 12日(火) 宮之城畜産振興会総会
  - 13日(水) 庁議・行革本部会議 早掘筒出荷式 観光協会との意見交換
  - 14日(木) 農業後継者祝い金交付式 河川事務所との協議
  - 15日(金) 5周年記念郷土芸能祭会場現地検討
  - 16日(土) 地域まるごと産直交流会(薩摩川内市) ジャズナイト5周年記念ライブ
  - 17日(日) 関東さつま会総会(東京都)
  - 18日(月) 町村会定期総会ほか(19日まで 天城町)
  - 20日(水) 河川事務所との協議 国有林野所在町村有志協議会総会(鹿児島市)
  - 21日(木) 県観光所在市町村協議会監査(鹿児島市) 担い手事業関係意見交換会
  - 22日(金) 老人福祉事業関係意見交換会
  - 23日(土) ひらぎ会運動会 虎居地区被災者協議会総会
  - 25日(月) 臨時地区公民館長連絡会 プロジェクト調整会議 町まちづくり懇話会
  - 26日(火) 認定農業者認定証交付式 電子入札 中山景子表敬訪問(国体報告) 町行革審議会
  - 27日(水) 療育施設教育実践見学(伊佐市) 火災見舞 河川事務所との協議
  - 28日(木) 水力発電関係要望(民主党県連への要望 鹿児島市) 街づくり景観勉強会
  - 29日(金) ふるさとビデオ試写会(鹿児島市) 県戦没者追悼式(鹿児島市) 入札
  - 30日(土) 辞令交付式(退職者) 薩摩中央高校農家実習終了式
  - 31日(日) さつま警察署管内防犯少年パレード大会 二渡鮎まつり
- 宮之城・宮之城農業・薩摩中央高校三校同窓会総会

## ■くらしの情報

●お問い合わせ:さつま町役場 TEL(53)1111 FAX(52)3514

健康増進課 健康増進係  
内線2143

### ●健康診査日程

- 乳幼児健診・健康相談
- 1歳6か月児 (H21・4生)
- 12月15日(水) 午後0時30分～午後1時受付(宮之城保健センター)
- 2歳6か月児 (H20・6生)
- 1月6日(木) 午後0時30分～午後1時受付(宮之城保健センター)
- 歯科健康診査
- 1月7日(金) 午前9時30分～午前10時30分(宮之城保健センター)
- 4〜5か月児産婦健康診査 (H22・8生)
- 1月12日(水) 午後0時30分～午後1時受付(宮之城保健センター)
- 母子健康手帳交付
- 12月20日(月) 午前9時30分～午前11時(宮之城保健センター)
- 健康保険証・印鑑をお持ちの上、ご夫婦でおいでください。
- フッ化物塗布
- 12月15日(水) 1月6日(木) 午後3時～午後4時受

付(宮之城保健センター)  
総合健康相談

1月4日(火) 午前9時30分～午前11時(宮之城保健センター)

### ●楽々健康ウォーク

●何かないかなコース  
12月12日(日) 午前8時宮之城ひまわり館出発

■虎居街道コース  
12月25日(土) 午前8時虎居地区公民館駐車場出発

福祉課 福祉障害係  
内線2133

### ●心配ごと相談所

毎週木曜日 午前10時～正午  
宮之城ひまわり館  
お問い合わせ先  
町社会福祉協議会  
☎(52) 1123

町民課 町民係  
内線2125

### ●年金相談

年金加入記録や受給手続きなどについての『移動年金相談所』を開設します。相談には、川内年金事務所の職員が応じますので、年金の請求手続き及び質問や相談などがありましたら、年金手帳・年金証書・印鑑などの関係書類をもってお越しください。また、代理

の場合は、委任状が必要です。

日時 12月16日(木) 午前10時～午後3時  
場所 宮之城ひまわり館

### ●年金を受けている方が亡くなったとき

年金を受けている方が死亡するとなくなり、年金を受け取る権利は、年金を受けている方が死亡した月に死亡した月の分まで支払われます。死亡した方に支払われるはずであった年金が残っているときは、遺族の方にその分の年金(未支給年金)といえます。未支給年金といます。

遺族の方などが「未支給年金保険給付請求書及び死亡届」を役場年金係または川内年金事務所に提出してください。

「未支給年金保険給付請求書及び死亡届」には、「年金証書」のほか死亡の事実を明らかにできる書類(戸籍抄本、住民票抄本など)及び生計維持が確認できる書類(住民票除票・住民票など)が必要です。この届が遅れますと、年金を多く受け取り過ぎて、後で返さなければならなくなることもありますので、ご注意ください。未支給

### 【平成22年度に追納する場合の額】

	全額免除	4分の3免除	半額免除	4分の1免除
平成12年度の月分	15,770円	-	-	-
平成13年度の月分	15,180円	-	-	-
平成14年度の月分	14,590円	-	7,300円	-
平成15年度の月分	14,360円	-	7,180円	-
平成16年度の月分	14,180円	-	7,090円	-
平成17年度の月分	14,220円	-	7,110円	-
平成18年度の月分	14,260円	10,690円	7,130円	3,560円
平成19年度の月分	14,300円	10,720円	7,150円	3,570円
平成20年度の月分	14,410円	10,810円	7,200円	3,600円
平成21年度の月分	14,660円	10,990円	7,330円	3,660円

※詳しくは、川内年金事務所 ☎(22)5276へご相談ください

### ●国民年金保険料の追納のご案内

年金を受け取ることで、遺族の方は、年金を受けていた方の死亡当時、その方と生計を同じくしていた配偶者、子、父母、孫、祖父母または兄弟姉妹です。

未支給年金を受けられる順位もこのとおりです。年金を受給されたい方が亡くなった場合でも、遺族年金・寡婦年金・死亡一時金が支給される場合があります。詳しくは、役場年金係または、川内年金事務所へお問い合わせください。

保険料の全額免除や一部免除等の承認を受けた期間は、保険料を全額納付したときに比べ、将来受け取る年金額が少なくなります。そこで、これらの期間は、10年以内であれば、あとから保険料を納めること(追納)ができるようになっていきます。

追納する場合は、保険料免除等の承認を受けた期間の翌年度から起算して、3年度目以降(平成20・21年度はまだ加算がつきません)に保険料を追納すると、当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乗せされます。



**1歳で～す**  
毎月1番最初に  
生まれた赤ちゃん

むぎ た ゆうま  
**麥田有真くん**  
平成21年12月1日生



父 尚宏さん  
母 奈月美さん  
湯之元 公民会

両親から一言  
元気で優しい子に  
育ってね!

くりのりる  
**栗野璃瑠ちゃん**  
平成21年12月1日生



父 惇さん  
母 美佳さん  
上下大迫 公民会

両親から一言  
明るく元気に  
育ってね!

10月16日(11月15日届出分) (18人) 敬称略  
あかちゃん 特別保護者 公民会

栗野の	上野の	江野の	下野の	小野の	坂野の	大野の	水野の	矢野の	坂野の	吉野の	外野の	橋野の	曾野の	久野の	田野の	竹野の
清太	咲菜	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕	菜夕
女一	男勝	女祐	女博	女浩	女隆	女諭	女貴	女幸	女智	女芳	女武	女健	女秋	女弘	女健	女英
喜也	湯之元	ウツノ	ホノマツ	町頭	京塚原	轟原	紫尾下	二渡	古野	さつま園	西町	五日町	西町	湯田原	二渡町	境田

10月16日(11月15日届出分) (42人) 敬称略  
なくなた人 年齢 公民会

堂脇	濱屋	池田	樽木	玉利	土屋	原田	中野	前野	富吉	北川	飯屋	福島	久木	鉢迫	渡	佐藤	兒玉	小森	中間	内村	羽子	小坂
正春	弘行	博三	和義	西平	上川	上向	愛宕	大長	中央	ほたる	湯田原	愛宕	京塚原	山神	下京塚原	紫尾上	下手	時吉	上川	五日	新町	新町
70	98	57	80	76	78	87	83	79	85	70	87	55	66	75	86	85	82	80	78	82	80	82
時吉	二渡	広橋	城之口	武白	西平	上川	上向	愛宕	大長	中央	ほたる	湯田原	愛宕	京塚原	山神	下京塚原	紫尾上	下手	時吉	上川	五日	新町

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

川畑	加治屋	久木	市場	湯之原	吉原	下松	山迫	木下	内之倉	山下	原田	福岡	鶴園	満園	時吉	神園	高代	羽島
景良	昇雄	忠光	利光	君江	智弘	重弘	力三	三郎	正人	サヨ	キミ	政雄	政雄	シカノ	常道	タミ	フチノ	朋恵
87	59	76	86	83	90	74	71	79	84	95	83	87	88	91	60	83	97	85
荒瀬	柊野	川原	大願	ほたる	南川	武白	西湯田	黒鳥	木洪	木洪	上平	須杭	上福	浅井	中央	下手	ほのぼ	東町

**こんにちは保健師です 健康さつま21**  
～食生活 楽しくおいしくバランスよく～

食事は私達が健康で幸せな生活を送るために欠くことのできないものです。近年の社会環境の変化では、朝食を摂らない人の増加、加工食品やサプリメントなど特定の食品への依存、過度のダイエット志向、食卓を中心とした家族団らんの喪失などがみられ、身体的・精神的な健康への影響が心配されています。

日常生活の中で工夫してみましょう！  
野菜を両手一杯（350g以上）食べよう！

- ゆでる、煮る、炒める、蒸す、ジュースにする等野菜をたくさん食べる工夫をしましょう
- 外食の時は野菜の多い料理を食べよう心がけましょう
- 旬の野菜をとりいれよう!!
- 塩分を控えよう！（目標は10g以下です。調味料や味付けを工夫して塩分を控えるようにしましょう）
- 規則正しく食べる習慣をつけよう！
- 三食きちんと食べよう!!（必ず朝食を食べよう!!）
- 食事は良く噛んで腹八分目を心がけよう!!

外食や食品購入の時は、栄養成分表示を参考にしましょう

この冬を元気に乗り切るためにも、是非楽しくおいしくバランスのとれた食事を心がけましょう。

**誕生おめでとう**

**おくやみ申し上げます**



はがき絵作家  
こむかい かずなり  
**小向井 一成さん (62歳)**

今では、千葉県で暮らす息子さん家族に毎日同じように『はがき絵』を送り続け、もう10年目になります。

「情報化社会の中で、この『はがき絵』には携帯電話などには無い、手描きの温もりや配達人の真心がある」と魅力を話されます。

小向井さんの生活信条は、36年間の鉄道人生で培った「心はいつもピカピカの1年生でありたい」だそうです。

「何事も慣れてくると、いつの間にか謙虚さを忘れてしまうので、そう心掛けていきたい」と絵にも表しています。

また、地元で語り継がれている民話などを紙芝居にして

**心はいつもピカピカの1年生でありたい!**



小学校などで読み聞かせを行ったり、『はがき絵講座』なども開催され、引つ張りだこの小向井さんは、これまで県内各地で『はがき絵展』を行ってききましたが、来年2月には、福岡市天神のデパートでの『はがき絵展』も予定されています。

小向井さんは「物は豊かになかったが心は豊かだった子ども時代の四季折々の思い出を『はがき絵』に描き、心豊かな時代を伝えたい」と今日も絵筆を走らせます。

**ひと仕事**  
さつまに生きる



このコーナーでは、さつま町で働く人々の姿を紹介します。自薦・他薦は問いません。多くの人材をご紹介します。



もとむら ゆきのり  
本村 雪徳さん

薩摩中学校3年



父の姿を見て畜産と稲作を目指す！

私の家の周りでは、多くの皆さんが稲作や畜産に精を出されています。登下校の際にも地域の皆さんが働きながら笑顔で声をかけてくださり、安心して通うことができます。私の家も、牛を飼いながら米を育てています。父親の大変な苦勞も見ていますが、収穫や出荷の喜びもひとしおのようです。そんな父の姿を見て、私もさつま町で畜産と稲作に従事していきたいです。がんばります。

【ホームページ】 <http://www.satsuma-net.jp>  
【メールアドレス】 [so-hosei@satsuma-net.jp](mailto:so-hosei@satsuma-net.jp)

休日在宅医

【12月】		
5日	海江田医院	☎53-0006
12日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326
19日	ケリカリアン病院	☎53-1704
23日	てらだ内科クリニック	☎21-3232
26日	溝口整形外科	☎52-4668
30日	相良医院	☎53-0160
31日	木原医院	☎52-2700
【1月】		
1日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326
2日	稲津病院	☎52-3355
3日	さくらクリニック	☎53-1451
9日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326
10日	宮之城病院	☎53-0180

休日薬局

【12月】		
5日	タバタ薬局	☎21-3344
12日	青空薬局	☎52-0101
19日	ぎんざ薬局	☎53-0011
23日	さし薬局	☎21-3610
26日	ヘルシー薬局	☎21-3739
30日	うさぎ薬局	☎52-4116
31日	みやんじょ薬局	☎52-4650
【1月】		
1日	青空薬局	☎52-0101
2日	やまだ薬局	☎52-4585
3日	きりん薬局	☎52-2033
9日	青空薬局	☎52-0101
10日	つるだ薬局	☎55-9388

わたしたちの町

推計人口による  
人口 23,997人 (- 18人)  
男 11,102人 (- 12人)  
女 12,895人 (- 6人)  
世帯数 10,300世帯  
転入 42人 転出 36人  
出生 13人 死亡 37人  
(平成22年11月1日現在)  
( )は前月対比

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。